

●3つの営業所が拠点ごとに特色を出す

三信倉庫

都内に立地や機能の異なる3つの営業所(品川営業所、城南島流通センター、板橋営業所)を構える三信倉庫(本社・東京都中央区、大竹英明社長)。拠点ごとに特色を出し、貨物や物流形態、コスト負担力に合った倉庫を提案できるため、「都内に物流拠点を置きたい」という荷主の要望に対してよりの確に対応できる。

オフィスや高層マンションが立ち並ぶ天王洲地区にある品川営業所(東京都品川区)。千葉方面・川崎・横浜方面からのアクセス性にも優れ、とりわけ都内配送に最適な立地にあるため、フラワーショップの配送センターなど物流拠点として運営するほか、アクアクララと提携して倉庫内に製造プラントを設置し、水の製造事業を行っている。



品川営業所には倉庫内に製造プラントを設置

板橋営業所(東京都板橋区)は周辺に住宅地があり、パルターイマーの確保が容易であることから、庫内での流通加工に力を入れてきた。ゆとりをもった床荷重(坪当たり5〜10ト)により重量物に対応できる特徴を生かし、文書保管やパンフレット等印刷物の保管、書籍の改装作業(本の研磨作業)を手掛ける。

東京港、羽田空港から至近の城南島流通センター(東京都大田区)は、保税蔵置場の許可を受け、外貨の受け入れに対応。取り扱い貨物の半分以上が輸入酒で、ワイン等の検品、輸入者ラベル貼りなどの流通加工も行う。一部は定温倉庫となっており、通年で温度を一定にする必要がある商品も扱える。

城南島流通センターでは、昼間は一般貨物の荷さばき場、夜間は生花の仕分け場として活用する「倉庫の二毛作」を実現。国内や海外の花き生産地から送られてきた生花の集積・仕分

け・配送サービスを提供する、東京花き共同荷受(本社・東京都中央区、大竹社長)と連携し、昼夜フル稼働により貴重な都内の倉庫の有効活用を図っている。

「都内に物流拠点を置きたい」という荷主のニーズも様々。拠点ごとに特色を出し、荷主が「選べる」ことは顧客満足度につながる。また、商材によっては景気や事業構造の变化の影響を受けするため、都内という限られたエリアでも倉庫により取り扱う商材を変えることは「共倒れを防ぐ」狙いもある。

●住宅に隣接する倉庫の立地を生かす

醍醐倉庫

醍醐倉庫(本社・東京都大田区、醍醐正明社長)では、本社倉庫に次ぐ主力拠点として「東糀谷営業所」(東京都大田区)を5月にオープンした。同社では住宅街に隣接する倉庫の立地をいかし、パルターイマーを活用した流通加工やネット通販の物流代行業務に力を入れており、年内にはプライベートマーク(Pマーク)を取得予定だ。

本社倉庫のある大田区仲池上は閑静な住宅街が広がっている。都市計画法による用途地域では準工業地域にあたり、もともとは京浜工業地帯の中小工場が集積。周辺にはほかにも倉庫があるが、近年はマンションなどに建て替えるケースも出てきた。その中で、醍醐倉庫はこの仲



「倉庫の二毛作」では昼(右)はフォークリフトとパレット、夜は台車による作業



倉庫の立地をいかに流通加工に力を入れる

始めた。当初はアパレルがメインだったが、後発でもあり、採算面で苦戦。アパレルの流通加工のノウハウを雑貨に転用し、主に中小企業をターゲットに新規顧客を開拓していった。

本社倉庫で扱っているのは、ほとんどが海外



本社倉庫に次ぐ主力拠点、東糀谷営業所

池上の本社倉庫を営業倉庫の主力拠点と位置付けている。

同社では周辺の住宅街からパートを集めやすいという立地メリットをいかすため、17年ほど前から流通加工に力を入れ

からの輸入品。東京港から近い距離にありながら、住宅街の立地をいかした労働集約型の流通加工に対応できる。都心に本社を置く荷主が商品を見たい時に、郊外の倉庫だと1日がかかりになってしまうが、大田区であればすぐに商品を見に来られる利点がある。

5月には「東糀谷営業所」を開設した。羽田空港からも好アクセスな立地にあり、パートが働きやすいよう空調を完備。本社倉庫の一部荷物を移転したほか、ネット通販貨物なども取り込んでいく考え。南北に分割できるレイアウトで、南側の1〜4階と北側の3・4階を醍醐倉庫が使用し、北側1〜2階でテナントを募集している。

郊外に拠点を設けて分散するよりも、同じ大田区内で2拠点を運営する方が管理・運営面でも効率的。新営業所では年明けからパートを募集していたが、本社倉庫で研修を実施。本社倉庫と新営業所が近距離にあるため、パートの転籍も可能で、オープン直後から熟練したパートが作業に従事できた。

なお、同社で力を入れるネット通販の物流代行業務はシステム会社や軽作業会社など競合も多い。「お客様が期待しているのは『物流のプロ』。営業倉庫のプロとして在庫管理や誤出荷防止に加えて何ができるかが腕の見せ所」と醍醐社長は強調する。「中小のお客様に対しては標準化がすべてではなく、個別の対応にも力を入れていきたい」と語った。

物流関連の映像制作は業界実績ナンバー1の当社まで!!

c a r g o @ c a r g o - n e w s . c o . j p